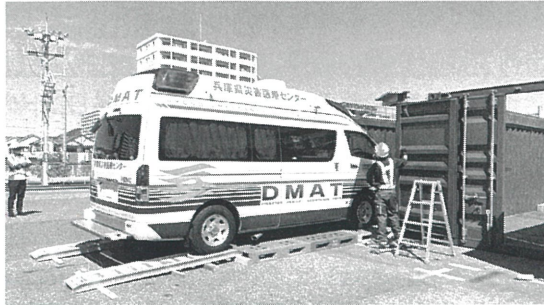


医療訓練で緊急車両を鉄道輸送

■JR貨物／NXHD

日本貨物鉄道（JR貨物）とNIPPON EXPRESSホールディングス（NXHD）は9日、9月27、28の両日に内閣府主催で実施された「大規模地震時医療活動訓練」



神戸貨物ターミナル駅での緊急車両のバンニング

で緊急車両の鉄道輸送を行ったと発表した。JR貨物と日本通運が百済貨物ターミナル駅（大阪市）・神戸貨物ターミナル駅（兵庫県神戸市）一相模貨物駅（神奈川県大磯町）で実施

した。

災害派遣医療チーム「DMAT」が出勤する際、医療関係者が運転して緊急車両を移送するが、移動時間や労力の軽減を目的に幹線区間を鉄道



相模貨物駅での緊急車両のコンテナからの取り出し

輸送するため、試験的に実施した。兵庫県災害医療センターをはじめとする医療機関と連携して、オーブントップコンテナ3本を含む20フィートコンテナ6本を輸送した。

千葉・袖ヶ浦に新工場、2期棟竣工

■ワコーパレット

物流機器のレンタル・販売事業を手掛けるワコーパレット（大阪市中央区、川久保篤代表取締役社長）は、千葉県袖ヶ浦市の「袖ヶ浦ファクトリー」



「袖ヶ浦ファクトリー」2期棟外観

ー」で、第2期工事となる新工場と事務所棟を竣工した。建築面積5800平方メートルで、同社最大規模の工場だという。竣工日は10月1日。

同社は物流機器や保管機器、パレット、コンテナなどのレンタル・販売を

手掛けている。営業拠点は大阪、九州、東京、埼玉、名古屋に構えている。自社流通拠点の多くは兵庫県内に配置しており、袖ヶ浦ファクトリーは東日本の中核施設として2019年に稼



「袖ヶ浦ファクトリー」2期棟内観

働し、今回第2期工事として新工場・事務所棟を増設した。同ファクトリーの概要は次のとおり。

住所=千葉県袖ヶ浦市椎の森385-49

三井倉庫HD、統合報告書発行

三井倉庫ホールディングス（HD）は10日、グループの財務・非財務情報を統合し、将来の持続的な成長に向けた取り組みなどを記載した「VALUE REPORT2024 統合報告書」を制作したと発表した。今回の統合報告書では、主にマテリアリティ改定およびビジネスモデル再定義に関するプロセスと詳細説明、中期経営計画2022の進捗状況、環境・社会・ガバ

ナンスに関する取り組みについて内容を拡充したという。

また、グループのESGに関する方針や考え方、関連する定量・定性情報を掲載した「サステナビリティデータブック 2024」もあわせて発行した。マテリアリティを中心とした各ESGテーマに関する情報を、各種開示基準を参考として「ガバナンス」「戦略」「リスク管理」「指標と目標」などの

項目に沿って整理した。

統合報告書とサステナビリティデータブックは同社のWebサイト上で公開している。英語版は今冬に公開予定。

訂正 10日付11頁、阪急阪神エクスプレスの9月航空実績の記事中、9月の輸入貨物件数の8月との比較は「700件ほど減った」ではなく「700件ほど増えた」でした。お詫びして訂正いたします。